

ビル・ウィリアムズのインジケータ

多くのテクニカル指標の中でビル・ウィリアムズという項目が単独で存在し、その中に6つのテクニカル指標があります。ビル・ウィリアムズの指標群だけ特別扱いされているように感じます。テクニカル指標を数多く開発した人の中でもビル・ウィリアムズ博士は比較的新しい時代の指標開発者です。6つの指標は、彼の著作 TRADING CHAOS の中で紹介されている指標です。指標自体はそれほど複雑なものではなく、既存の指標をベースに開発された指標と言えるでしょう。ここでは、ビル・ウィリアムズの指標群を順を追って説明して行くことにします。

フラクタル - (位相空間)
原動力 - (エネルギー位相)
加速/減速 - (電力位相)
地帯 - (電力位相)
バランスライン

価格の変更を分析するため、以下のインジケータが開発されていました。



Accelerator/Decelerator オシレーター (AC)

Accelerator/Decelerator (アクセレーター)はトレンドの方向と強さを表示する指標で、カオス・アクセラレーター・オシレーターとも呼ばれている。

基本的に0.000を境に、上回ってきた場合は上昇トレンド、下回ってきた場合は下降トレンドと見ます。MACDとよく似た、オシレーター系の指標。

また上昇トレンドにおいて、バーの色が緑色から赤色に変化した時に、上昇力が弱まったと判断し、逆に下降トレンドにおいて、バーの色が赤色から緑色に変化した時に、下降力が弱まったと見ます。

0.000を上回った場合に「買い」、0.000を下回った場合に「売り」。そして色が変化した時が決済のポイント。また色が緑色から赤色から変化した時に買われすぎ、赤色から緑色に変化した時に、売られすぎ転換点と判断し、逆バリでエントリーするといった方法もあります。

4時間枠以下でインジケータは効果的でないです。

計算方法

ACが前期よりも大きければ、緑色、小さければ、赤色。

$AO = SMA(\text{median price}, 5) - SMA(\text{median price}, 34)$

$AC = AO - SMA(AO, 5)$



アリゲーター(Alligator)

アリゲーター指標(アリゲーター)、ビルウィリアムズによって発明されたが、実際に移動平均の3つの異なる色の組み合わせを持って移動平均のシステムは、それぞれ、青ライン(あごのワニの代わりに)、赤線(ワニの歯の代わりに)、黄色の線(ワニ口の代わりに)。

Alligator(アリゲーター)は3本のラインで構成されます。(平滑移動平均線SMMAの3本組です)この3本のラインをワニの口にととえて、



- ・ラインが重なっているところ⇒Sleeping(眠っている)=ラインの収束
- ・離れているところ⇒Hunting(口が開いて捕食している)と表現します。

3本の平滑移動平均線の収束⇒拡張⇒収束をワニの捕食にたとえているんですね。タイミングは、口の開き始めでエントリーして口を閉じて再び眠りに入るところでイグジットです。

計算方法

- ノートでは、: SMMA-スムーズに移動平均。
- ブルーライン = SMMA (中央値価格は、13、8)
- 赤 = SMMA (中央値価格は、8、5)
- グリーンライン = SMMA (中央値価格は、5、3)

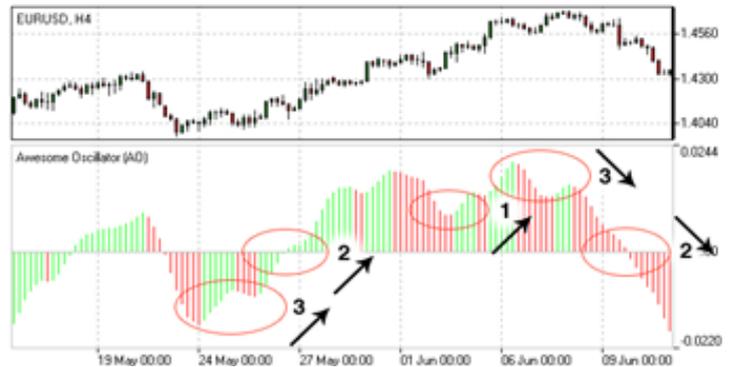
オーサム・オシレーター

Awesome Oscillator (AO) は買いシグナル、売りシグナルをわかりやすく教えてくれるツール。

売られすぎ、買われすぎや、転換点を判断するテクニカルです。

本チャートでは、0ラインを基準として、0ラインより上方であれば、上昇トレンド、下方であれば下降トレンドと判断します。

0ラインより上方で下降から0ラインを割らずに再度上昇した際は買いサイン、0ラインより下方で上昇から0ラインを割らずに再度下降した際は売りサインと判断します。



計算方法

オーサム・インジケーター・オシレーターは5と34ピリオド(H+L)/2の差から計算されます。

中間価格 = (ヒック+ロー)/2

AO = SMA(中央値価格、5)-SMA(中央値価格、34)

SMA — [移動平均](#)

フラクタル

FXトレードのテクニカル分析におけるフラクタルとは、一言で言えば、相場全体の大きな値動きの中の反転ポイントのことである。そして、この反転ポイントには、ブル（強気）フラクタルと、ベア（弱気）フラクタルがある。

強気フラクタルは、5本の足から構成され、最高値を付けた足の直後の2本の足の高値が連続して切り下がっている。逆に、弱気フラクタルは、最低値を付けた足の直後の2本の安値が連続して切り下がっている状態にある。

- 買いのフラクタルは上のフラクタルです。
- 売りのフラクタルは下のフラクタルです。



Gator オシレーター

アリゲーターの補助インジケーターとして使うといいでしょう。0のときはトレードをしないようにするようになっています。アリゲーターと同じで口が開き始めたときにトレードします。

このオシレーターはAlligatorの赤線と青線の差を上向きヒストグラムに、赤線と緑線の差を下向きヒストグラムに表示する。

3の時間枠があります：

1. 青線計算で使用する足の数
2. 赤線計算で使用する足の数
3. 緑線計算で使用する足の数



BW MFI (Market Facilitation Index)

ティックごとの値動きを表してます。出来高等を使ってあらわすため、この業者との会いたい取引のため実際に使えるかどうかは微妙です。

- **緑バー** - MFI値と取引量が上昇します。トレンド力が上がります。
- **青バー** - MFI値が上昇、取引量が下落します。トレンド力が下がります。
- **赤バー** - MFI値が下落、取引量が上がります。トレンドの補正が可能です。
- **茶色のバー** - MFI値と取引量が下落します。トレンド反転が可能です。



計算方法

$$\text{BW MFI} = (\text{HIGH}-\text{LOW})/\text{VOLUME}$$

Conclusion

As a conclusion it's worth mentioning that the trading theory offered by Bill Williams has its primary place in the trading field and helps a number of traders to achieve their trading goals. As well as it's worth mentioning that though Williams thought that traditional methods cannot guarantee reliable results he has contributed to the development of technical analysis with a range of tools based on his philosophical reflections on what the financial market really is.

www.ifcmarkets.com

